

新潟県立上越特別支援学校 実践報告書【学校報告用】

(1) 事業名 ※事業名称がある場合	障害特性に配慮し、全ての命を守る学校防災体制の構築
(2) 実践報告	
実践内容及び児童生徒の様子	<p>① 避難訓練の実施(学校3回、寄宿舍9回、計12回実施) 津波対応訓練では、全職員が声を掛け合ってすばやく車椅子等の児童生徒を2階に避難させた。子どもたちも、落ち着いて行動した。</p> <p>② 小中学部、高等部授業実施(避難訓練実施時の事前事後指導)</p> <p>③ 環境整備(自家発電機、停電時医ケア対応)</p> <p>④ 教職員全体研修1 資料から学ぶ(東日本大震災資料共通理解)</p> <p>⑤ 教職員全体研修2 : 県立看護大学准教授から講演 「地震・津波・火災等、非常災害事態発生時の心構えとその対応」</p> <p>⑥ 医療的ケアを必要とする児童生徒の非常災害時緊急対応訓練(3回実施)地震発生、停電を想定。避難準備と同時に、吸引、転換発作への対応を行う。救急車が来ない状況の中で、安全教育部が全体の避難状況、安全状況を確認しながら、医ケアルームで待機しなければならない児童生徒・教職員への情報提供、必要物品の確認を行った。自家発電機、充電器付吸引機を実際に使用。緊迫感のある訓練を実施することができた。県立看護大の教官から具体的な指導・助言を得た。</p>
成果と今後の課題	当校における課題の整理と対応方法の検討ができた。様々な状況設定で訓練を行い、講師を招いての研修会を実施したことで、職員の心構えもできてきた。
実践の様子	
	
▲地震・津波時想定避難訓練①	▲地震・津波時想定避難訓練②
	
▲医ケア停電時想定訓練①	▲医ケア停電時想定訓練②